



支援員養成講座5

発達障害と合理的配慮

学年に応じた配慮③

主な発達障害



1

2

自閉症スペクトラム障害(ASD)の特徴

見通しが持てない状況が苦手。

言葉をそのままの意味で理解するため、相手の意図の読み取りが難しい。

情報の整理が苦手。

ノートの取り方にこだわる。

学習環境が違くと落ち着かない。

細かい間違いを指摘する。

状況把握が弱く、学習スタイルにもこだわりが強い

低学年における困難の特徴

活動に見通しが持てないと不安になる

情緒や行動の不適応につながる

興味・関心のあることにこだわりすぎる

次の活動に切り替えることができない

騒がしい教室や大きな音に敏感

学習に集中できない

授業のユニバーサルデザイン研究会(監修) 東洋館出版 授業のユニバーサルデザインを目指す全時間指導ガイド

3

4

中学年における困難の特徴

会話が一方的である

指示の内容を理解できない

教員の発問や友だちの発言の意図が読み取れない

場に応じた対応ができない

学習の理解にアンバランスさがある

説明文は得意だが、心理解の問題は苦手

授業のユニバーサルデザイン研究会(監修) 東洋館出版 授業のユニバーサルデザインを目指す全時間指導ガイド

高学年における困難の特徴

想像力をはたらかせて考えることが難しい

文章から状況を想像できないため、心理解の問題が苦手

ノートの取り方など、学習スタイルへのこだわりが強い

学習だけでなく生活にも支障をきたす

自信喪失傾向にある

自己肯定感の低下

授業のユニバーサルデザイン研究会(監修) 東洋館出版 授業のユニバーサルデザインを目指す全時間指導ガイド

5

6

学年に応じた配慮

見通しがもてるよう、授業前に
今日の流れを確認する

興味や関心をひく、視覚的な教材を活用する

言葉かけは、短く・簡潔に・肯定的に行う

国立特別支援教育総合研究所「合理的配慮」実践事例データベース



7

学年に応じた配慮



特に高学年では、失敗体験の積み重ねにより、
自己肯定感が下がる、学習性無力感などの
二次障害が生じるため、配慮が必要です

国立特別支援教育総合研究所「合理的配慮」実践事例データベース



8